

Topic 01 「市民公開講座 光の不思議」を開催しました

1月21日(日)学校教育学科 三崎隆特任教授により、新規となる市民公開講座「光の不思議」を開催しました。対象者を中学生とした講座については初めての試みでしたが、講座を通して本学を身近に感じてもらう進路の選択になることを目的として開催しました。中学生は部活動などの理由から参加が難しいと予想されましたが、市内外に幅広く周知することで定員を超える申し込みがあり、急速定員を増やし対応しました。西桂町と大月市からの参加もあり、これからの情報発信手段の開拓にも繋がりました。



参加者の感想

- ・光の性質を理解し、望遠鏡や顕微鏡の仕組みが分かって面白かった。
- ・理科の光は苦手であり好きではなかったが、楽しく手を動かしながら行うことで少し理解できた。月を見たくなくなった。
- ・身近にある都留文科大学で、貴重な体験ができたことにより今後の将来に役に立つのかなと感じた。

Topic 02 「のびのび興譲館クッキング塾」を開催しました

都留市教育委員会主催の小学生対象「のびのび興譲館クッキング塾」(2023.12.2/16 実施)に生活環境科学系ゼミ8名が参加し、ゼミ学生の故郷でもある茨城県と愛媛県の郷土料理に挑戦しました。茨城県の回では栗御飯・巻織饅頭・パイタ焼・スイートポテト、愛媛県の回では蛸飯・石花汁・今治焼鶏・醤油餅を調理しました。併せて郷土や食文化の紹介もを行い、小学生と一緒に調理実習できるという貴重な機会を得ることができました。



Topic 03 華道サークルの生け花がセンター入口を華やかに彩りました

昨年の11月頃華道サークルの活動後のこと。ふと、通りかかった地域交流研究センターの前で足を止め、内心ドキドキしながら「生けたお花をここに飾らせて頂けないか。」とお願いしたところ、寛大に快く受け入れて下さったことが本当に嬉しく、心に残っています。「華やかで明るくなったね」と感想を聞かせてくださったりと、草木や花々が持つパワーの偉大さに私自身も改めて気づくことが出来たこと、心から感謝申し上げます。(華道サークル 比較文化学科4年 遠藤愛さん)



お知らせ



1号館1階ホール入口に地域交流研究センター案内掲示板を設置しました

地域交流研究センターでは、イベントの開催チラシや、ボランティア情報、地域からの情報チラシなど様々な情報を発信しています。学内外からの大切な情報を一人でも多くの方へ知っていただくために、CAMPUS SQUAREからも発信していますが、このたび1号館1階ホール入口にセンター専用の案内掲示板を設置しました。情報チラシの他にも「フィールド・ノート」や「ニュースレター」など、センター発行物も置いてあります。どうぞご自由にご覧ください。

『フィールド・ノート』116号・特別号



地域交流研究センターの機関誌『フィールド・ノート』は、学生が主体となって編集に取り組み、毎年、3号を発行しています。今年度はすでに114号と115号を発行しましたが、令和6年3月には、116号と特別号の2号の発行を予定しています。特別号は、地域交流研究センターが運営している「オープンアーカイブ」に保存されている都留市の過去の写真の現在を訪ねるといったものです。冊子は、本学のホームページでもご覧になれますので、116号と併せてぜひお楽しみください。

TSURU

FIELD MUSEUM NEWS

都留文科大学  
地域交流研究センター  
Research Center for Community Collaborations



vol. 06

フクジュソウ Adonis ramosa  
キャンパスに春の訪れを告げるフクジュソウが今年も雪のなかで咲きました。

2024 March



地域交流研究センター

〒402-8555 山梨県都留市田原3-8-1 4号館1階  
Tel.0554-43-4341 (内線606) Mail.ckouryu@tsuru.ac.jp



都留文科大学 WEB



都留文科大学 X



地域交流研究センター X

FIELD MUSEUM NEWS 第6号

【発行】 © 都留文科大学地域交流研究センター 【発行日】 2024年3月25日  
【センター委員】 鈴木健大 / 北垣憲仁 / 日向良和 / 別宮有紀子 / 内山美恵子 / 福島万紀 / 山森美穂 / 吉岡卓 / 野中潤 / 青木宏希 / 山本直紀 / 堤英俊 / 佐藤比呂二 / 山本剛 / 平和香子 / 富永貴公 / 吉田恵理 / 邊見信 / 原和久 / 山越英嗣 / 佐野夢加 【事務局】 谷内正美 / 杉本涼 / 渡部美由紀

地域交流研究センターのロゴは、人と人、人と自然の結びつきをイメージして制作しました

都留フィールド・ミュージアム

地域交流研究センターでは、地域そのものを博物館(ミュージアム)に見立て、身近な自然や文化に親しみ、じかに触れ、学びあう「都留フィールド・ミュージアム」構想を推進しています。人間探究を掲げる都留文科大学にふさわしいこのような取り組みを受け継ぎ、発展させていくことを目的に地域交流研究センターが発足しました。



地域交流研究センター

地域交流研究センターは、都留文科大学と地域をつなぐさまざまな活動と研究に取り組むための拠点です。地域は、人びとが生まれ育ち、自然とかわりながら暮らし、文化と歴史を刻みつけている現場です。そこには、自然・人間・社会のあり方を問いなおす手がかりがあります。地域交流研究センターは、活動を通して、地域全体を博物館(ミュージアム)ととらえる「都留フィールド・ミュージアム」構想を推進していきます。

# 地域交流研究センター

地域交流研究センターには、「自然共生研究部門」、「共生教育研究部門」、「まちづくり研究部門」、「グローバル交流研究部門」があります。この4つの部門では、私たちの暮らしや自然との共生のありかたなど地域の現代的な課題に即して、自然科学や人文・社会科学といった領域を総合して取り組んでいます。それとともに、地域を担う次代の主体を育成することを目的としたさまざまな教育・研究活動を行なっています。気軽にお問い合わせください。

## 自然共生研究部門

R5年度に、学生たちと一緒に「キャンパス生きものMap」作成プロジェクトを立ち上げました。月に1回集まり、樹木や季節毎に見られる動植物を調査し、キャンパス内の生物多様性を記録しようというものです。国文学科、英文学科、地域社会学科、学校教育学科、比較文化学科など様々な学生が参加してくれました。その成果である「生きものMap 2023」が3月に発行されます！学生たちの“推し”の生きもの紹介もあるのでぜひご覧ください！



## 共生教育研究部門

### ● 地域情報教育分野

12月23日にTHMCで「ロイロノートスクール入門セミナー」を開催しました。Canva、ChatGPT、Google Classroomを含む4部構成だった8月9～10日のつるぶん授業フェスに続く企画で、県外からロイロ認定ティーチャー3名をお招きしました。セミナーには、教育実習などでロイロノートスクールを知った学生だけではなく、卒業後に現場でロイロを使い始めた現職の教員が県外から何人も参加しました。



12月23日(土)「ロイロノートスクール入門セミナー」

### ● 地域インフルエンス教育分野

今年度も第5回目となる11月11日(土)に「職場体験」を実施しました。学生が参加者さんの希望を聞きとり、地域の事業所に協力依頼を行いました。昨年度ご協力いただいた「図書館」「カフェ」「自動車販売業者」に加え、「コンビニ」と「花屋」の2カ所が新たに加わり、充実した体験となりました。制服に身を包み澁刺と仕事に打ち込んだり、緊張しながらも笑顔で接客したりと前向きに取り組む姿が印象的でした。翌日は体験先で作ったパンをみんなで会食し、1年間を振り返りました。



11月11日(土)「職場体験」

### ● 地域美術教育分野

造形表現活動で、地域の子もたちと一緒に遊びましょう。紙や粘土、色や光など、様々な素材を使って自由に表現します。子どもたちの発想に驚いたり、自分のアイデアを伝えたり、お互いに刺激を受けながら想像力を広げましょう。活動の前には、仲間とアイデアを出し合ったり、模擬活動をしたりして、参加者全員が楽しめる計画を立てます。造形表現活動で、新しい発見や感動を経験しましょう。



「宝保育所造形活動」

### ● 社会教育分野

11月18日(土)、バンカムの2階をお借りして「つるぶんカフェ」を開催しました。今回の企画は前衛短歌研究者であり現代歌人でもある瀬口真司さんをゲスト講師にお招きして、「短歌の言葉、わたしの言葉」と題し、短歌の創作と短歌を解釈することを通して日本語の面白さについてフリートークを交えながらお話を伺いました。現代短歌の最先端を知る方と短歌に関心を持つ参加者が一首の歌の解釈をめぐる自由な意見を交換する大変貴重な時間となりました。



## まちづくり研究部門

まちづくり研究部門では、都留市・富士急行と連携し、2023年度は自転車のまちづくりを目指して、サイクリングコースを企画しました。フィールドワークを踏まえ、「カフェ巡り」や「御朱印集め」などをテーマに、5本のサイクリングマップを制作しました。今後は印刷作業を行い、各所に設置予定です。また、富士急行線谷村町駅舎を活用した子どもたちの放課後の居場所づくり「ぶらっとはうす」では、12月にクリスマス会を開催しました。



11月27日(日)「三者連携プロジェクト報告会」

② 見出し横のロゴについて：ニホンリスがクルミの実を食べた痕をモチーフにしています。こうした食べ痕も動物の暮らしを知る重要な手掛かりになります。

## グローバル交流研究部門

本学の交換留学生を対象に10月21日(土)に、都留市鹿留の今宮神社にてムササビ自然観察会を開催しました。当日は、11名の留学生の参加がありましたが、ムササビの滑空を観察したり鳴き声を聞いたりすることができ自然と触れ合う心豊かな学びの時間となりました。観察会のガイドと通訳を本学の学生たちが務めてくれたおかげで、留学生と日本の学生たちのよい交流の機会にもなりました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



10月21日(土)「留学生対象ムササビ観察会」

## 地域交流研究センターのそのほかの事業

### ● 地域貢献活動

「市民公開講座」、「子ども公開講座」、「名画座(映画上映)」など、大学教員がもつ専門分野を活かしながら、大人から子どもまでを対象とした幅広い講座を数多く開催しています。

#### 【子ども公開講座】

令和5年10月14日「手作り石けんやキャンドルを作ろう」参加者計32名(写真①)

#### 【市民公開講座】

- 令和5年10月19日「第1回星空観察会」参加者13名(写真②)
- 令和5年10月21日「第3回ムササビ観察会」参加者11名
- 令和5年10月28日「湧水さんぽ」参加者7名(写真③)
- 令和5年10月28日「第4回ムササビ観察会」参加者13名
- 令和5年11月16日「第2回星空観察会」参加者13名
- 令和5年11月18日「第5回ムササビ観察会」参加者17名(写真④)
- 令和5年12月2日「第6回ムササビ観察会」参加者13名
- 令和6年1月21日「光の不思議」参加者15名



### ● 地域交流研究センターサテライト

地域交流研究センターサテライトは、都留市まちづくり交流センター1階にあり、大学と地域の人々をつなぐ架け橋のような窓口になります。後期には、つる銀河クラブ主催の「子ども宇宙教室」を開催しました。前半はJAXA教育センターから提供いただいたペンシルロケットを作成し、後半はつる銀河クラブ、都留文科大学天文サークルステラより星座や天体の説明、望遠鏡を使い天体観測を行いました。参加者は6組15名でした。



12月9日(土)「子ども宇宙教室」

### ● 出版・広報活動

地域交流研究センターの令和4年度の活動をまとめた年報『地域交流研究年報』19号を発行しました。また、学生が中心となって編集する地域交流研究センターの機関誌『フィールド・ノート』115号を発行しました。いずれも本学ホームページでご覧いただけます。



### ● ボランティア事業部

#### ● 「文大ボランティアひろば」を開催

10月～1月に「文大ボランティアひろば」を開催しました。募集中のボランティア紹介、ボランティアに参加した学生の体験発表、小人数のグループに分かれて自己紹介や動機などを話し、参加者同士の交流をする場となりました。また、外部よりゲストとして「都留市読み聞かせボランティアこぶたの会」、「あすなる学習会」、「にこ研親子のえがお研究クラブ」の方をお呼びし、ボランティア活動現場の生の声をお聞きすることができる貴重な体験となりました。



12月14日(木)「あすなる学習会」

#### ● 「ボランティア相談会」を実施

12月7日(木)には、今年度から新規開催となる「ボランティア相談会」を実施しました。都留市社会福祉協議会職員が本学へ出張し、学生を対象としたボランティアについての相談を受けました。相談内容は「災害・防災ボランティア」「ゴミ清掃ボランティア」など、具体的にやりたいボランティアについての相談であり、学生のこれからのボランティア活動の参考となりました。



12月7日(木)「ボランティア相談会」